令和７年度　野田市斎場及び野田市関宿斎場
指定管理者管理運営状況調書

担当課　市民課

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価	担当課評価	特記事項
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	サービス向上のための取組状況	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	人員配置について	B	B	

総合所見

月例報告の際に管理職が施設を訪問し、年度事業の実施状況など確認を行っている。

施設の利用者に対するサービスの提供については、葬祭業者との円滑なコミュニケーションを図り、いつでも公平、公正なサービス提供ができるよう業務マニュアルの再確認等を行い、適切な対応に努めている。

火葬件数が年間 2,000 件を超える状況の中、斎場予約システムにより常に予約状況を把握し、状況に応じて利用者や葬祭業者への説明を積極的に行うなど、火葬業務や葬儀等が円滑に行えるよう対処している。

また、動物火葬の利用者も多いことから、場所がわかりやすいよう場内の看板の取り換えを行い、お子様連れの方向けのキッズエリアの設置及びウォーターサーバーを設置するなど利便性の向上に取り組んでいる。

管理経費については、燃焼率を上げ適正に燃焼することで、火葬時間の短縮を図りながら燃料を縮減するための取組が行われている。

施設管理については、老朽化により修繕箇所が多い中、優先順位をつけ修繕を行うことで適正な管理を行っている。

職員の雇用については、仕様書及び事業計画を遵守し 19 名中 11 名が野田市在住者であり、障がい者についても自主的に雇用している。

また、野田市斎場では、退職により火葬業務 1 名及び通夜業務 1 名が欠員となっている。火葬業務については、常勤職員及び社員にて対応しており、通夜業務については、関宿斎場の通夜業務職員や常勤職員及び社員が対応している。募集

は継続して行っているが、応募がない状況が続いている。
　地元業者への配慮として、植栽業務や機械警備業務、電気設備保守点検委託、物品の調達を依頼している。
　なお、令和７年度から両斎場一括管理となったことにより、欠員が生じた業務の職員配置を迅速かつ柔軟に対応している。
　総合所見として、事業計画書に沿った運営がなされ、仕様書の水準が守られており、適正に管理運営がされていると評価する。